

～お子さまに予防注射のお話を～

子どもは注射が大嫌い！痛いし、怖いし、緊張する！

お母さまもお子さんを予防注射に連れて来る日は大変じゃありませんか？

大変なあまりに、なかには、お子さんに何も説明しないで来院されたり、

「注射じゃないよ」「痛くないよ」と言って来院されることもあります。



子どもは診察室で初めて、予防注射のことを知り、心の準備ができないままに注射されると、とても長い間泣きます。

でも、子どもが一番傷ついているのは、お母さんに嘘をつかせたそのお顔。

これは、注射の痛みよりも悲しいものなのです。

3歳になると、子どもなりに大人の話を理解するようになります。

できる範囲で、あらかじめ「心配な病気にならないための大切な注射だよ。少しだけ痛いけど、すぐに終わるからね。ママが応援してるから。」などと説明をしてあげましょう。



その時は、納得がいなくて泣いたり暴れたりするかも知れませんが、子どもなのですから。

でも、予防注射が終わった後にお子さんをたくさん褒めてあげてください。子どもは、

あらかじめ説明してくれたお母さんを心から信頼して、少しずつ、納得して頑張ることができるようになります。自信にも繋がります。



私たち医療者はお母さまの替わりはできません。

でも、いつでもお母さまお子さまが、できるだけ安心して予防注射を受けることができるように、お手伝いしたいと考えています。

何かできることがありましたら、気軽にお声をかけてください。

グレイス病院 小児科 松居 系り子



☆外来看護師が予防注射の説明でよく使うコメント！

- ・〇〇ちゃんを守ってくれる、大事な注射だよ。
- ・ちくっと痛いけど、〇〇ちゃんならがんばれるよ！一緒にがんばろう！
- ・〇〇ちゃんが病気になるのが悲しいから、そうならないように大事な注射、一緒にがんばろう！
- ・痛いけどやだね…私も嫌い。でも、大事な注射だから〇〇ちゃんならきっとがんばれるよ！

「痛い」ことは痛い、「苦しい」ことは苦しい、子どもたちが正直に話してくれる言葉はきちんと受け止めたいといつも考えています！一緒におはなしもさせていただきます。お声をかけください！

